

2016年3月期 決算説明会

2016年5月12日

日本無線株式会社

代表取締役社長 土田 隆平

- 1. 2015年度業績**
- 2. 新経営3ヵ年計画**
- 3. 2016年度事業計画**

1. 2015年度業績

1. 1. 2015年度業績



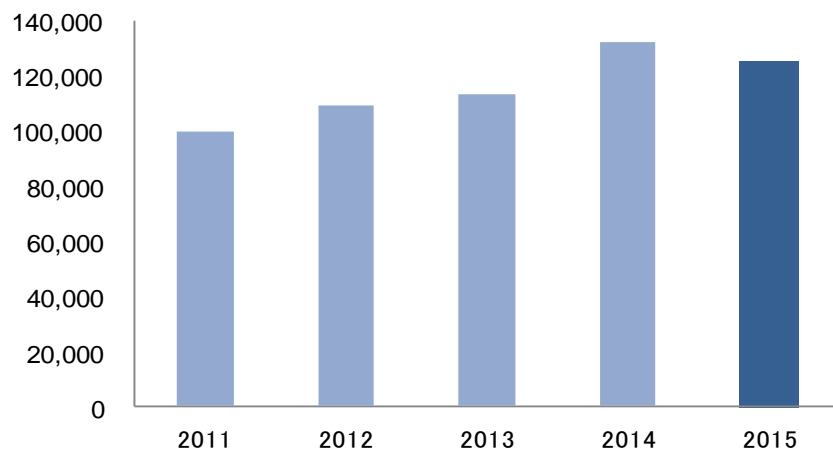
単位: 百万円

連結業績	2014年度実績	2015年度 期初計画	2015年度 実績
売上高	132,251	135,000	125,192
営業利益	7,713	7,000	3,183
経常利益	7,942	7,200	3,414
当期純利益	14,342	3,500	1,661

前期比	計画比
▲7,059	▲9,808
▲4,530	▲3,817
▲4,528	▲3,786
▲12,681	▲1,839

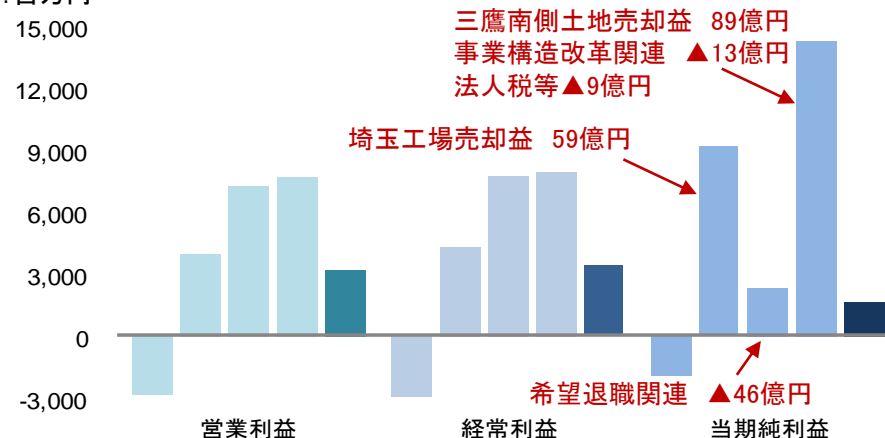
売上高の推移

単位: 百万円



利益の推移

単位: 百万円



左から 2011~2015

1. 2. 2015年度 セグメント別実績

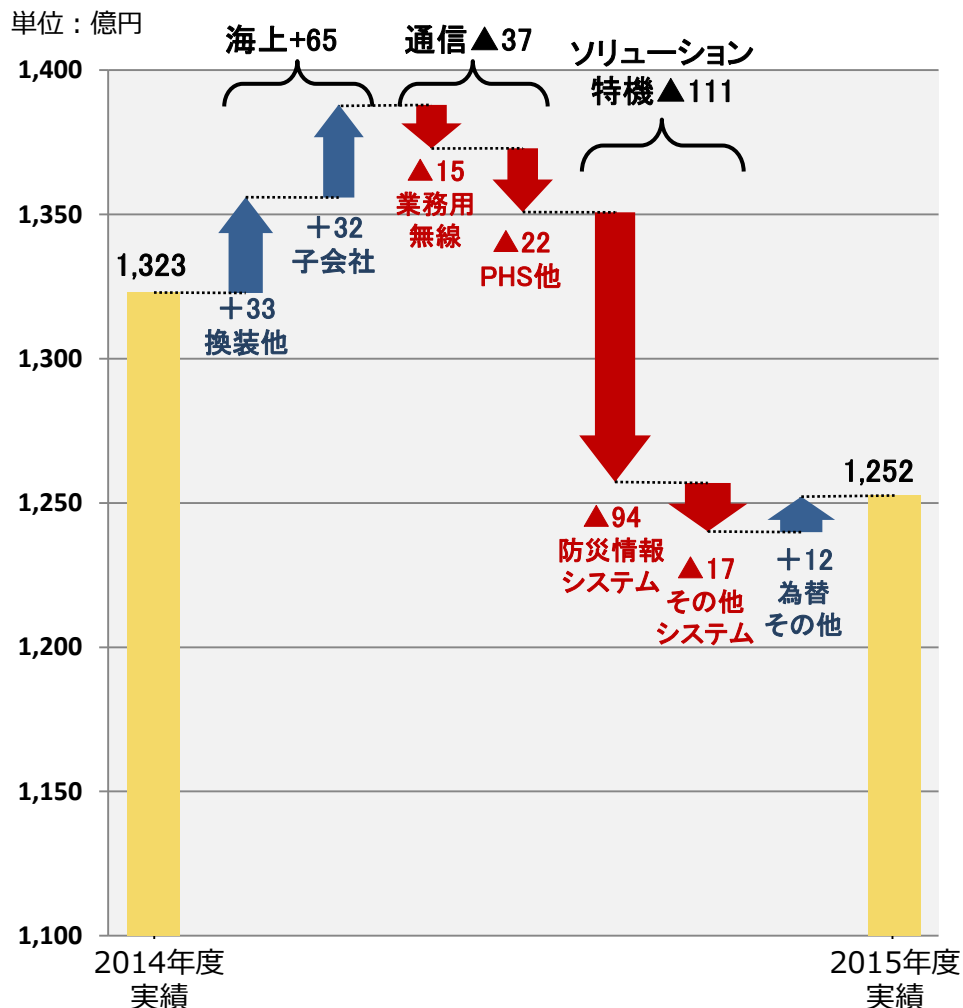
(上段)売上高・(下段)営業利益

単位：百万円

連結業績	2014年度		2015年度		前期比	計画比
	実績	期初計画	実績	実績		
海上機器	37,883	42,900	45,360		7,477	2,460
	979	1,500	2,297		1,318	797
通信機器	17,241	18,200	13,587		▲3,654	▲4,613
	28	500	▲440		▲468	▲940
ソリューション・特機	75,196	72,100	64,145		▲11,051	▲7,955
	6,909	5,300	1,776		▲5,133	▲3,524
その他	1,929	1,800	2,098		169	298
	▲203	▲300	▲449		▲246	▲149
合 計	132,251	135,000	125,192		▲7,059	▲9,808
	7,713	7,000	3,183		▲4,530	▲3,817

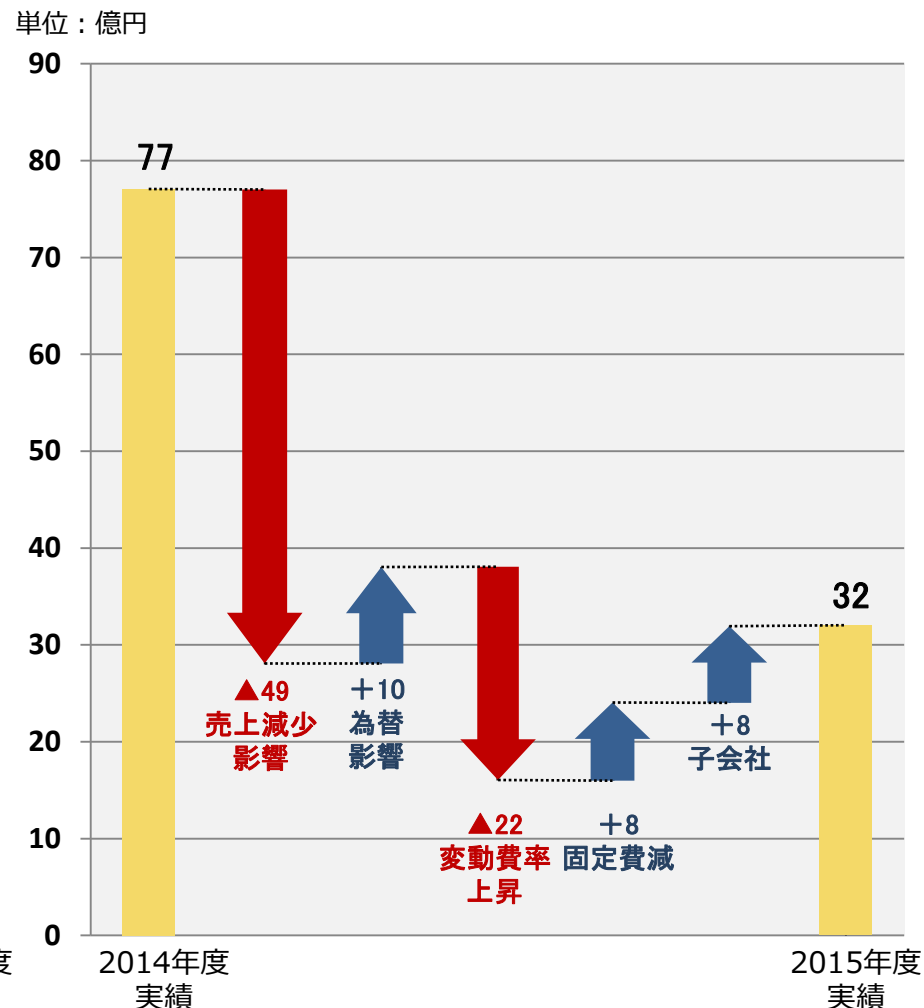
1.3. 売上高・営業利益分析（1） 前期実績比

売上高(前期実績比)



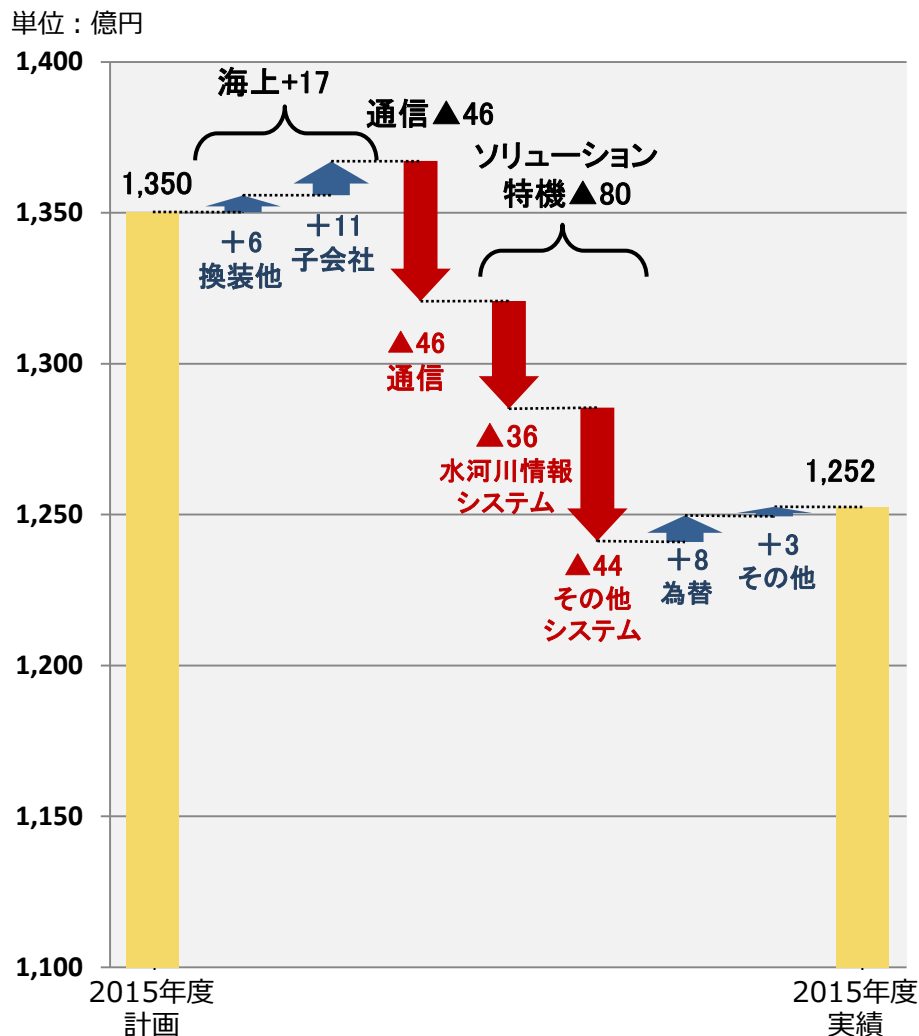
※ 各セグメントの売上高増減は、為替影響を除いた値

営業利益(前期実績比)



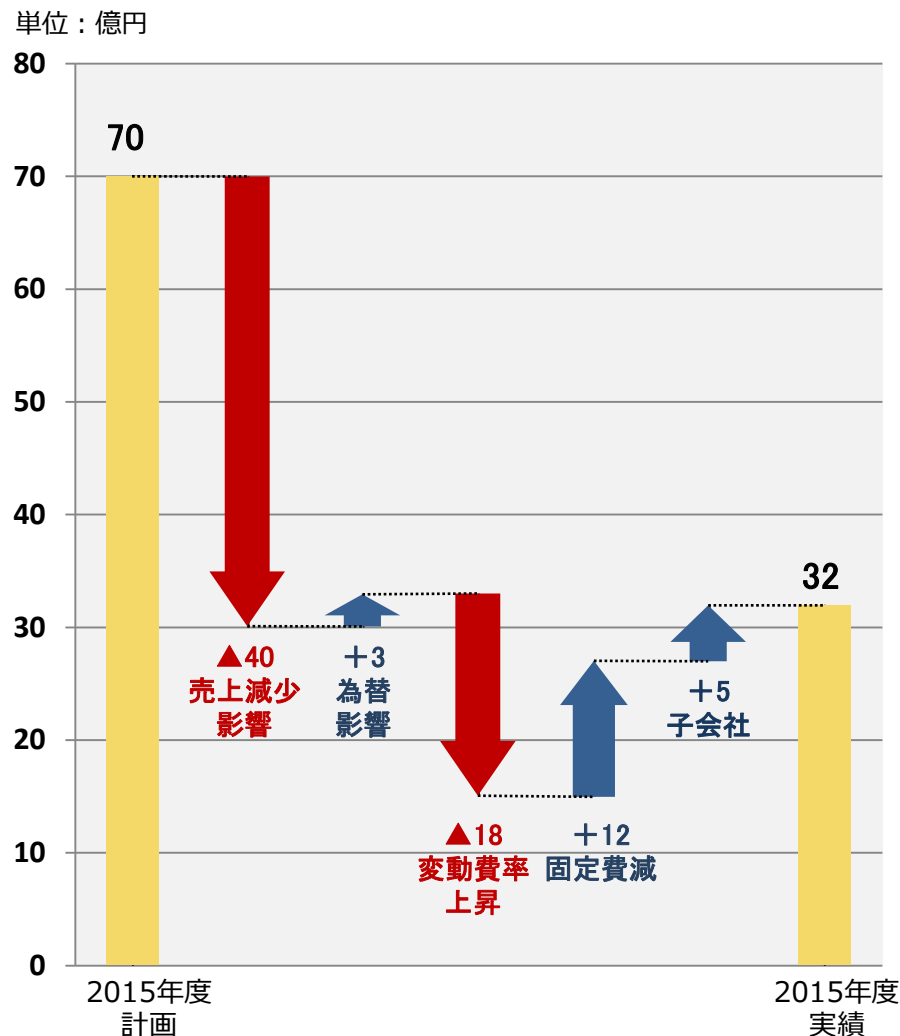
1. 3. 売上高・営業利益分析（2） 期初計画比

売上高（計画比）



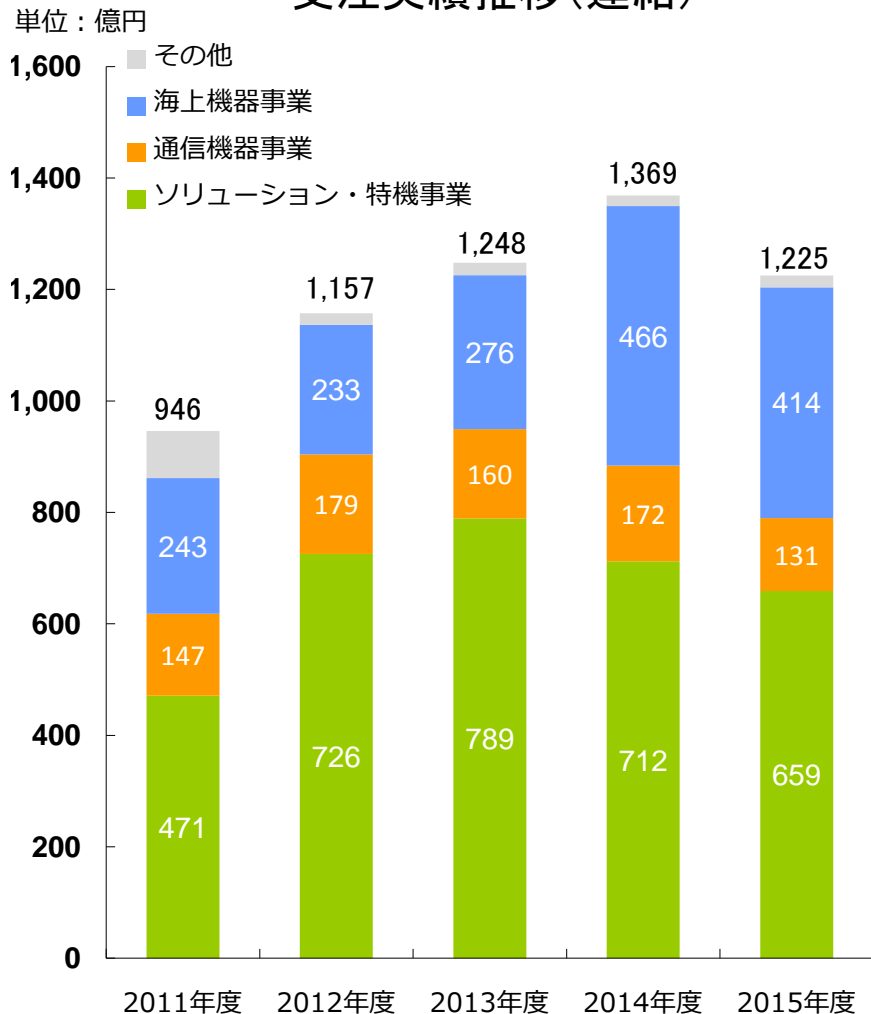
※ 各セグメントの売上高増減は、為替影響を除いた値

営業利益（計画比）

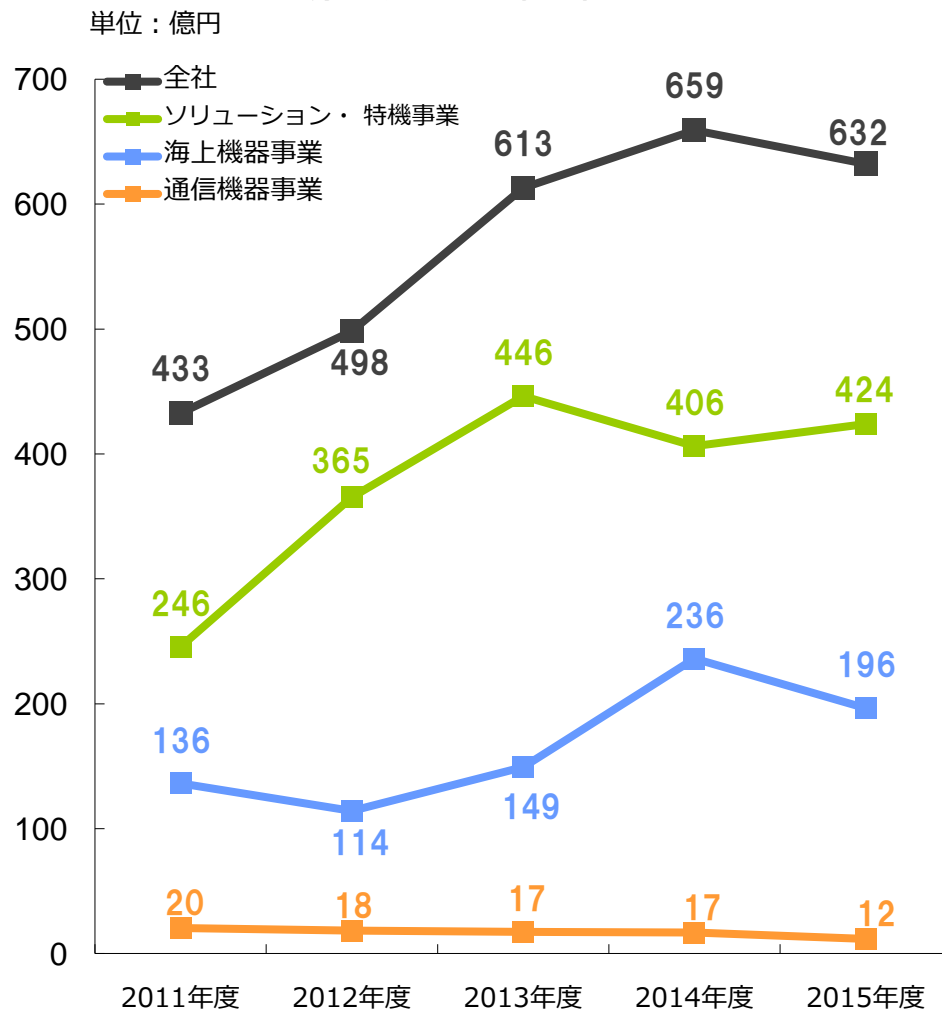


1. 4. 受注実績・受注残高

受注実績推移(連結)



期末受注残高推移(連結)

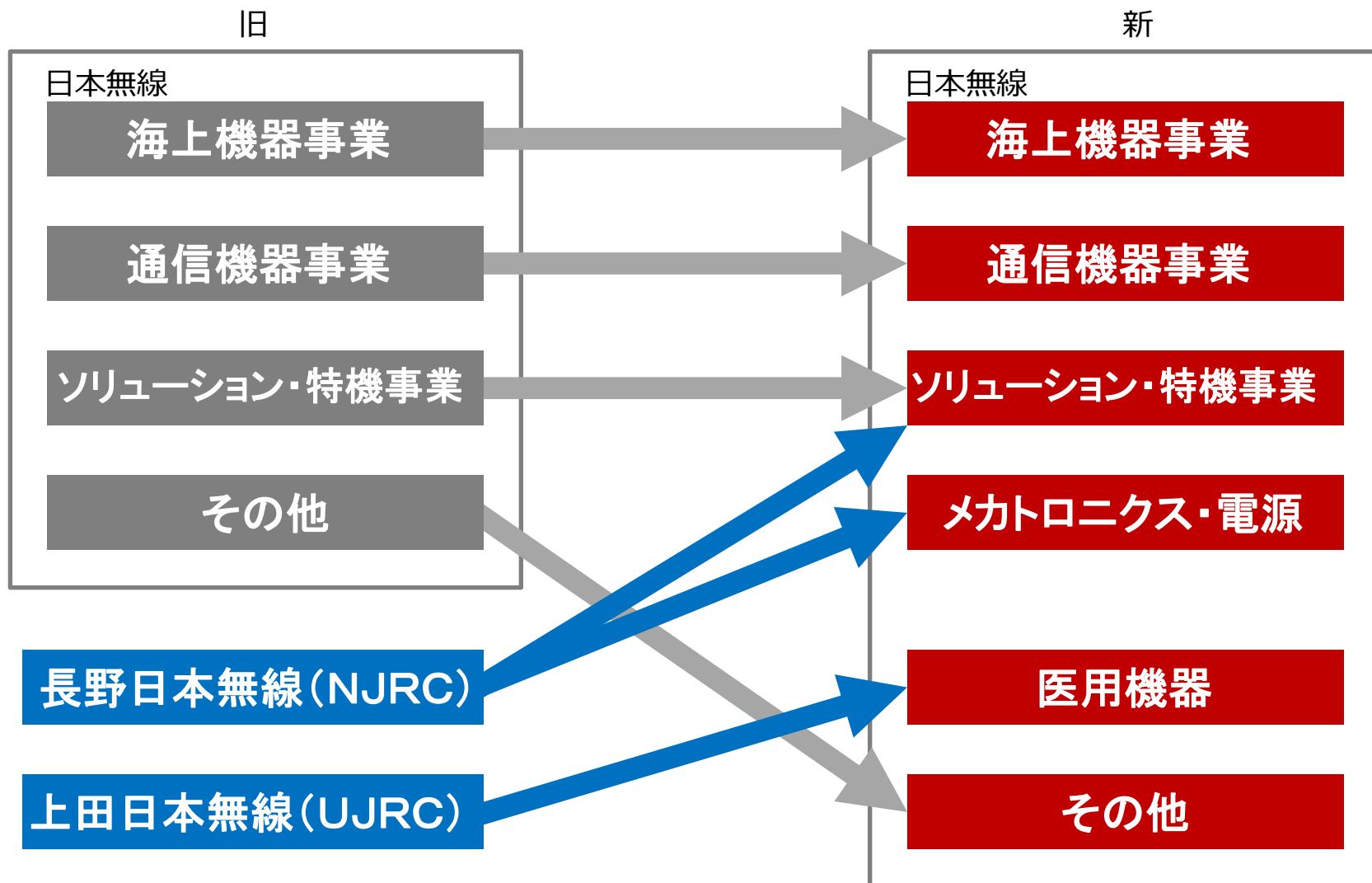


※2012年度よりセグメント集計方法を変更(官公庁向け事業の子会社業績をその他からソリューション・特機事業へ移行)

※2015年度期末受注残に、NJRC・UJRCは含まず

2. 新経営3ヵ年計画

長野日本無線、上田日本無線の完全子会社に伴う、新事業セグメントは以下の通り



長野日本無線、上田日本無線の事業概要については、34ページ・35ページをご参照下さい

2. 1. 新経営3ヵ年計画 業績見通し(1)



(単位:百万円)

(連結業績)	2015年度 実績
売上高	125,192
営業利益	3,183
経常利益	3,414
当期純利益	1,661
営業利益率	2.5%

2016年度 計画	2017年度 計画	2018年度 計画
165,000	175,000	185,000
5,400	8,000	12,000
5,300	7,900	12,000
4,300	4,900	7,600
3.3%	4.6%	6.5%

※NJRC・UJRCの影響額 (上記2015年度実績には含まず。2016～2018年度計画に含む。)

NJRC	売上高	32,481
	営業利益	586
UJRC	売上高	16,808
	営業利益	743
連結調整	売上高	▲14,950
	営業利益	0
NJRC・UJRC 影響額 合計	売上高	34,339
	営業利益	1,329

33,000	34,000	36,000
800	1,150	1,400
17,200	17,400	17,600
550	640	720
▲15,700	▲17,100	▲17,200
▲350	0	0
34,500	34,300	36,400
1,000	1,790	2,120

2. 1. 新経営3ヵ年計画 業績見通し(2) セグメント別



(上段)売上高・(下段)営業利益

(単位:百万円)

(連結営業利益)	2015年度実績	2016年度計画	2017年度計画	2018年度計画
海上機器事業	45,360 2,297	45,500 1,900	50,500 2,550	54,000 3,900
通信機器事業	13,587 ▲440	13,900 ▲200	15,700 ▲100	16,000 50
ソリューション・特機事業	64,145 1,776	76,800 4,050	79,500 5,200	84,000 7,100
メカトロニクス・電源	- -	18,500 ▲100	18,900 300	20,500 550
医用機器	- -	7,900 250	8,000 300	8,100 400
その他	2,098 ▲449	2,400 ▲500	2,400 ▲250	2,400 0
合計	125,192 3,183	165,000 5,400	175,000 8,000	185,000 12,000

※NJRC・UJRCの影響額 (上記2015年度実績には含まず。2016~2018年度計画に含む。)

(1) 基本的考え方

「成長戦略の遂行」により、世界の人々の安全・安心・環境保全に貢献する製品・サービスを提供できる事業グループになることを目指す

(2) 基本方針

- ① JRC/NJRC/UJRCの3社グループ事業推進体制を構築（ONE-JRC）
- ② ソリューション事業および海上機器事業をコア事業と位置付け事業拡大
- ③ 通信機器事業は、オートモーティブに注力し新規事業立上げ
- ④ 海外および民需市場を成長領域と位置づける
- ⑤ 事業の選択と集中により、成長分野にリソースを集中
- ⑥ 長期的な視点に立った技術開発
- ⑦ 変革をおそれないチャレンジャー精神あふれる企業風土づくり

(3) 経営戦略

1. ONE-JRCの構築

JRC/NJRC/UJRCの三つの会社が、ひとつの事業体として機能する体制の構築

2. ONE-JRCを実現するために、「ものづくり」「しくみづくり」「ひとづくり」の三つの改革を3社が一丸となって推進

3. 成長分野へのリソース集中に向け、3社の会社の枠を超えた連携を実現

(4) 事業戦略

① 海上機器事業

大型新造船市場は、需要変動の影響を受けやすく、また、換装市場は、需要が横ばいになることから、中小型船分野におけるさらなる拡大と、需要増が望める情報サービス事業での拡大を図る

(4) 事業戦略 ① 海上機器事業

“中小型船分野、情報サービス事業の取組み”

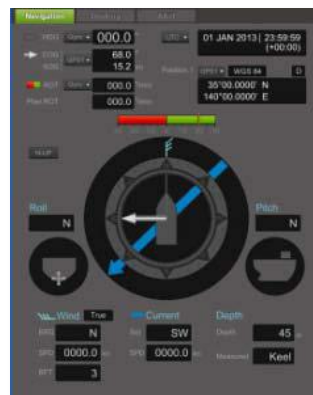


製品ラインナップ・販売網・アフターサービスの充実

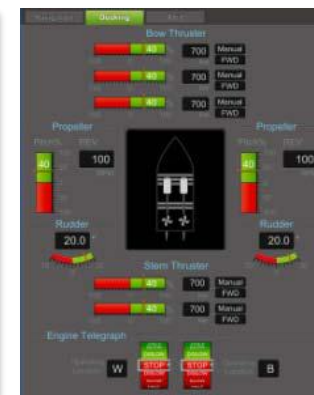
拠点戦略の強化・推進



最適航路援助
(J-Marine Routing)

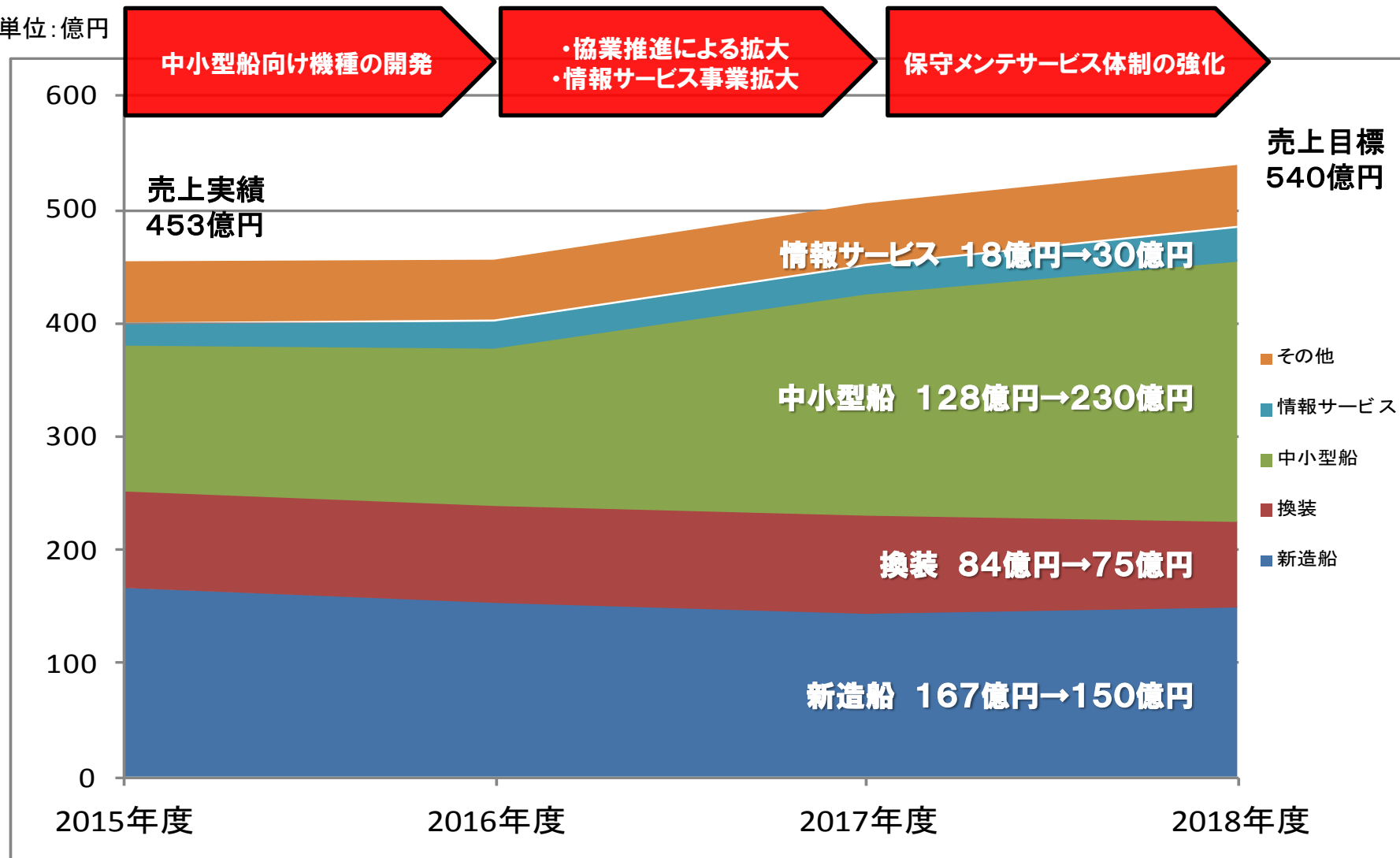


船舶見える化
(J-Marine GIS for Web Pro)



(4) 事業戦略 ① 海上機器事業 “目標達成のロードマップ”

単位: 億円



※中小型船には、海外子会社含む

(4) 事業戦略

② 通信機器事業

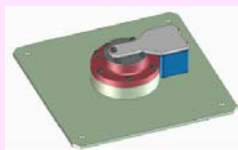
今までの事業活動で培った無線通信(マイクロ波)技術は、成長戦略の遂行において、中核となる技術が多いことから、成長が期待できるオートモーティブ事業を育てていく

(4) 事業戦略 ② 通信機器事業

“オートモーティブ事業の取り組み” ADAS(先進運転支援システム)分野への参入



77/79GHzレーダ



超音波センサ

他社にない技術で差別化



高精度GPS11



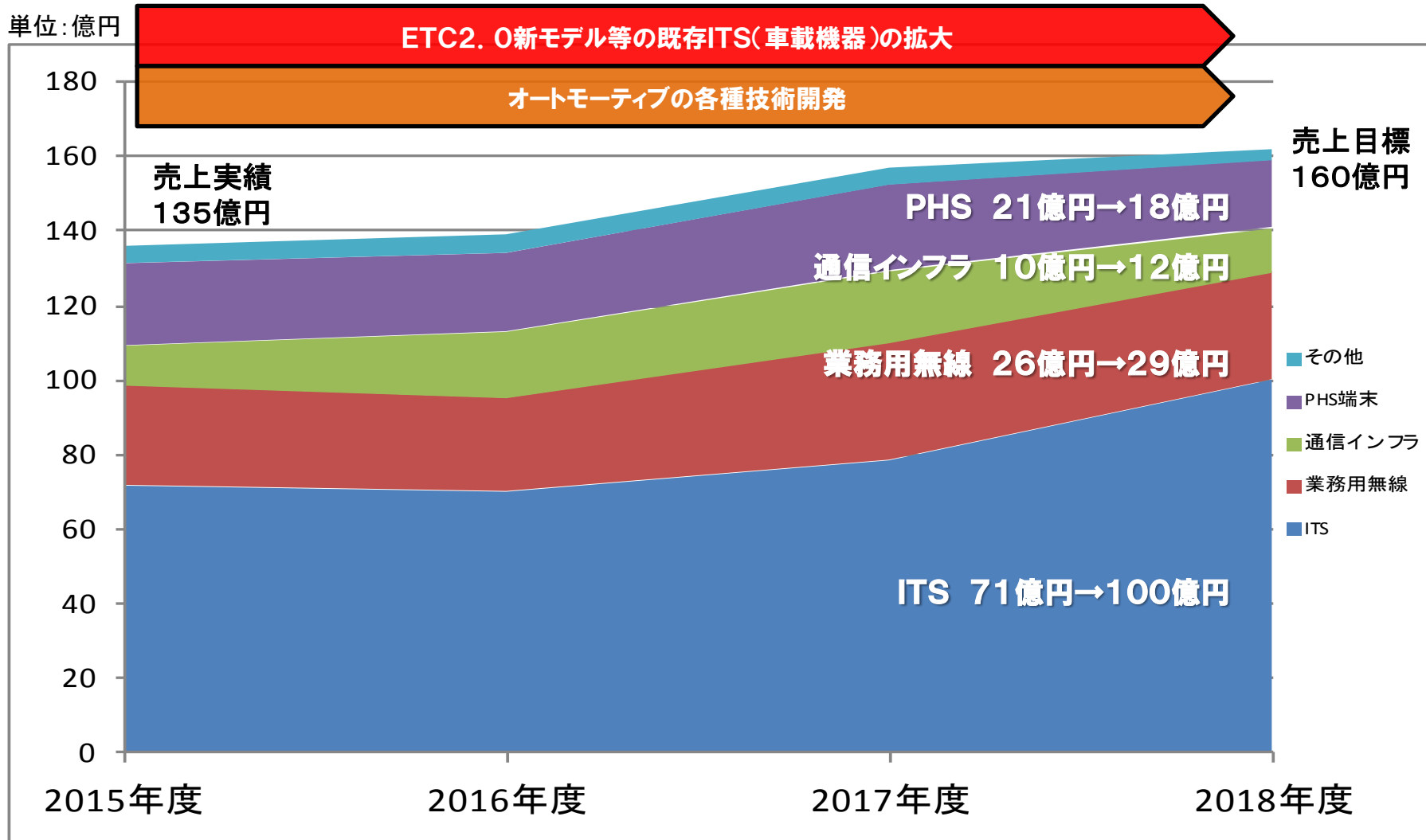
交通インフラ路側機



路車間・車車間通信

ADAS : Advanced Driver Assistance Systems

(4) 事業戦略 ② 通信機器事業 “目標達成のロードマップ”



(4) 事業戦略

③ ソリューション(SL)・特機事業

-1 SL事業

社会インフラ・防災関連の需要が期待できる新興国を中心とした海外市場と、ライフライン等の監視ソリューション事業を中心とした国内民需市場で事業を拡大

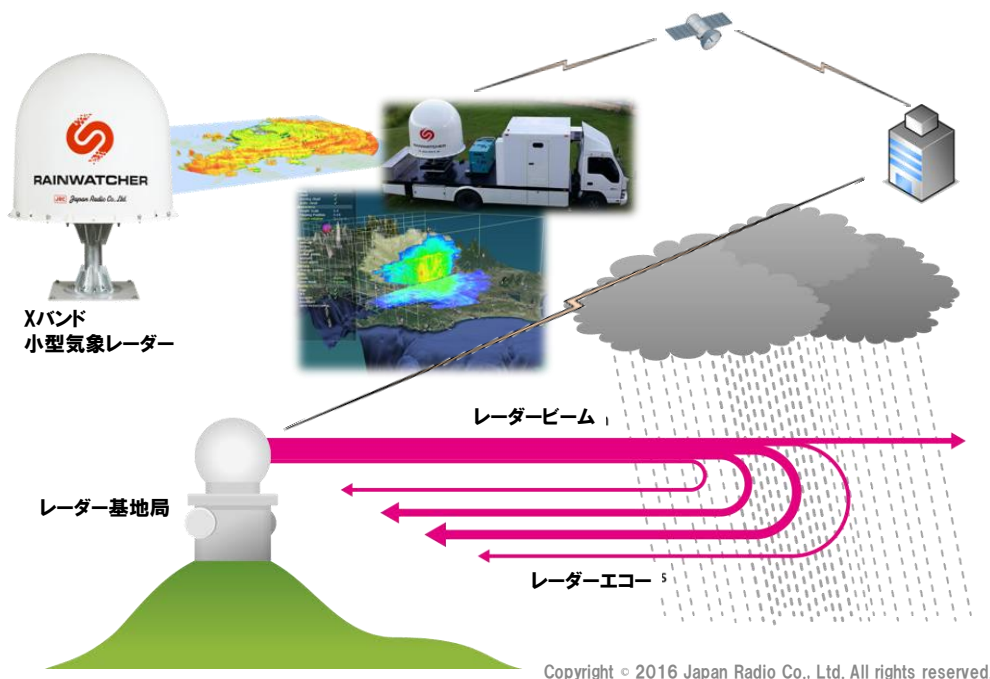
-2 特機事業

**将来の海外での事業拡大を視野に保有技術のレベルアップと、海外企業との協業を軸に事業展開を図っていく
また、将来的な事業拡大が見込まれる航空宇宙分野への参入を目指す**

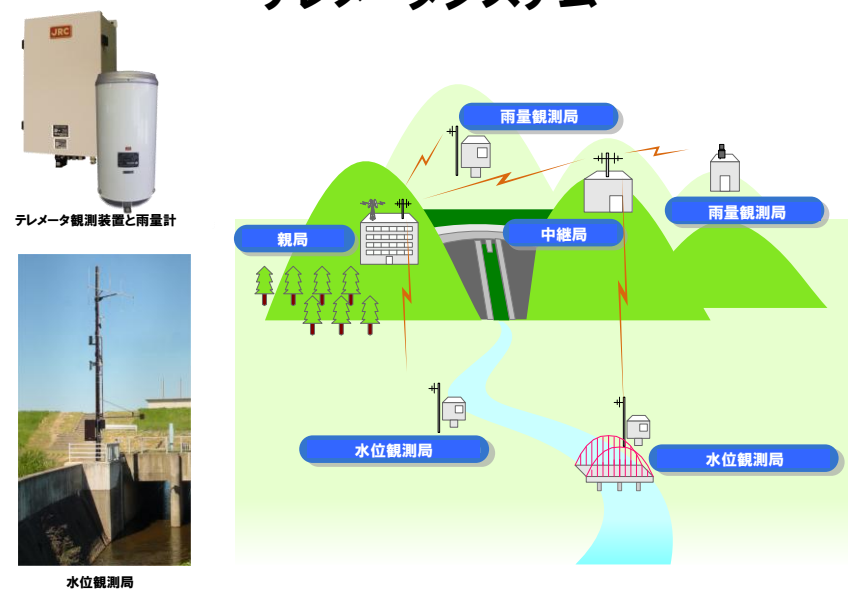
(4) 事業戦略 ③ SL・特機事業

“新興国向けシステムの一例”

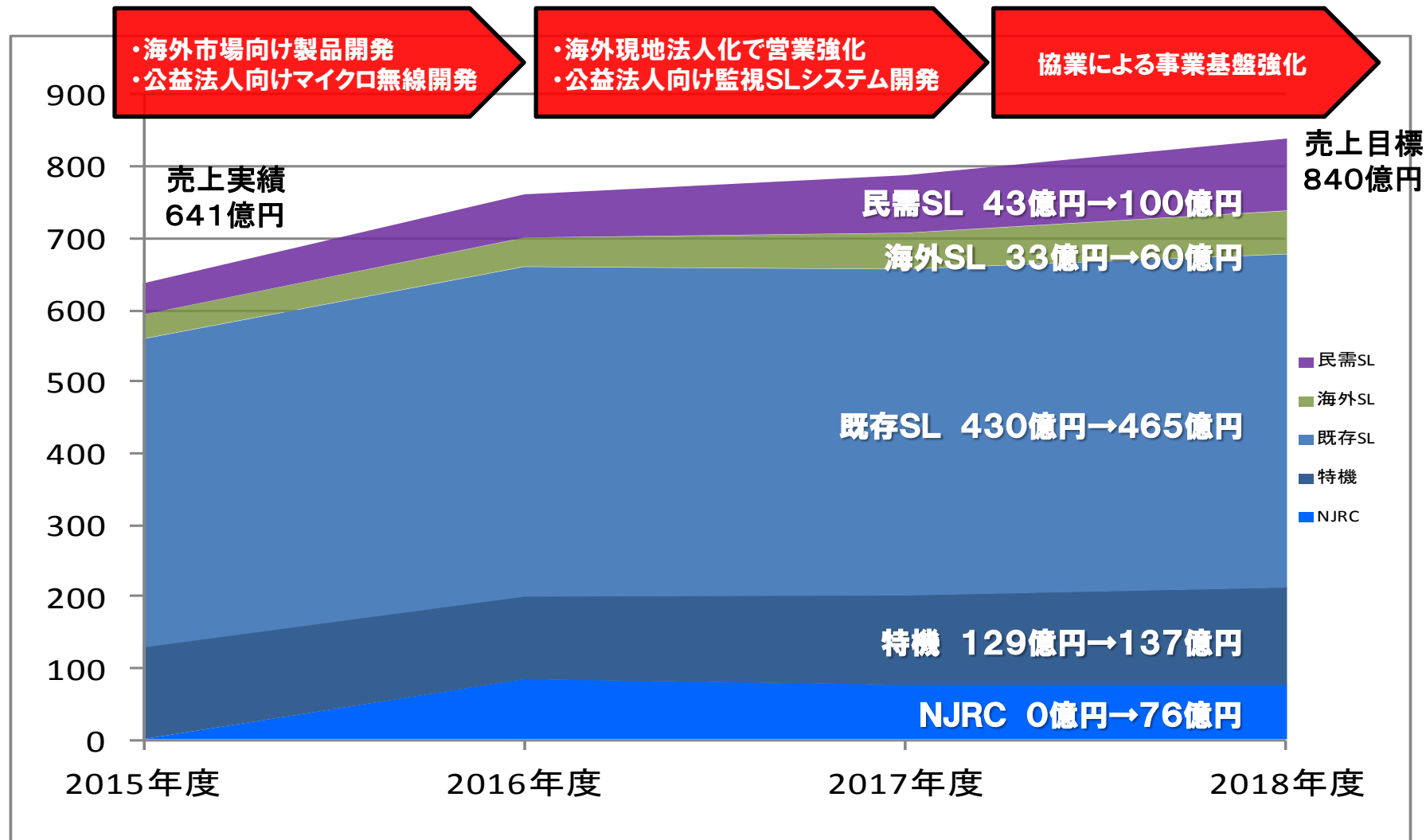
気象レーダーシステム



テレメータシステム

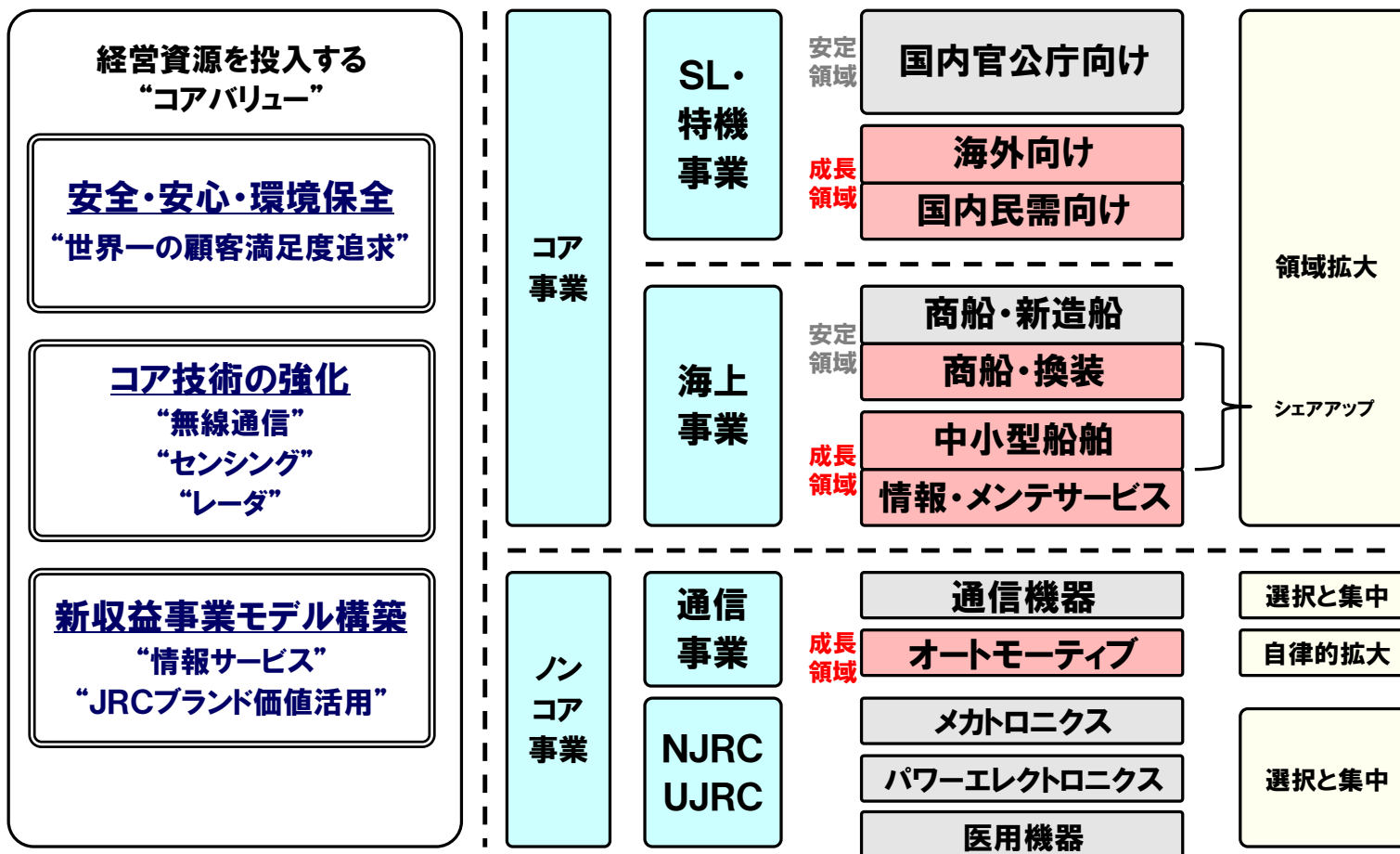


(4) 事業戦略 ③ SL・特機事業 “目標達成のロードマップ”



(4) 事業戦略

「事業ポートフォリオの方向性」



コア事業の「海外市場」と「国内民需市場」を成長領域と位置付け拡大

(5) 技術開発戦略

- 効率的な研究開発を推進すべく、グループ横断的な研究開発体制を構築
- 成長領域へのリソース集中投資
 - ・海上：中小型船向けの製品開発、情報サービス
 - ・通信：オートモーティブ・ミリ波やマイクロ波関連の開発
- 開発リソース不足に対応すべく、海外を含めた外部リソースの活用やM&Aを検討

(6) 生産・物流戦略

- JRC/NJRC/UJRCの3社が一体となったサプライチェーン構築
- リードタイム短縮による生産性向上、キャッシュフロー改善
- IoTを活用した効率的な生産システム構築
- 上記を実現すべく、「ものづくり改革」と「しくみづくり改革」を推進

(7) 人材戦略

“成長戦略の推進を可能とする人材の育成と、会社の理念・方針と、個人の目標が、一致することを目的とした制度をつくる”

「ひとづくり改革」

- **業績に貢献する「自ら考え行動する人材」を育成**
- **従業員全員参加の活動**

「人事制度の見直し」

- **従業員がより高いパフォーマンスを発揮することに対し、前向きに取り組める制度を構築**

3. 2016年度事業計画

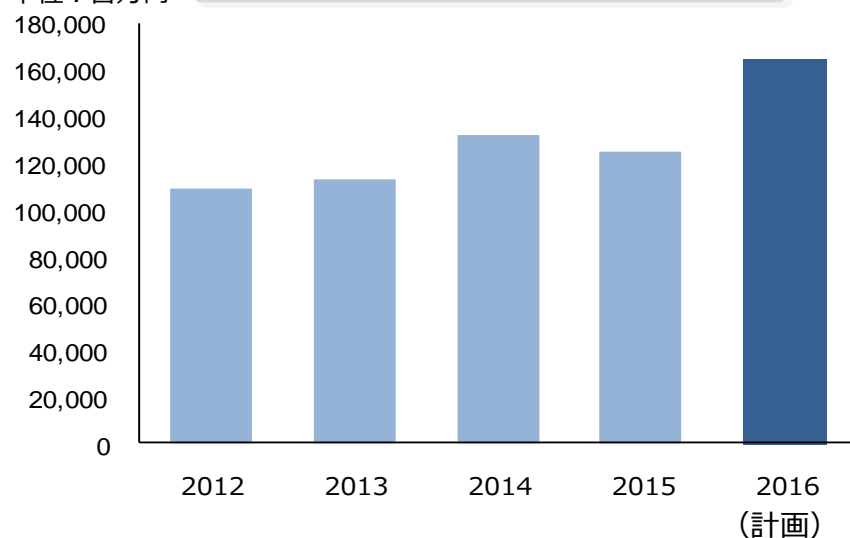
3. 1. 2016年度 事業計画

単位：百万円

連結業績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 計画	前期比
売上高	132,251	125,192	165,000	39,808
営業利益	7,713	3,183	5,400	2,217
経常利益	7,942	3,414	5,300	1,886
当期純利益	14,342	1,661	4,300	2,639
1株当たり配当金(円)	5.00	10.00	5.00	

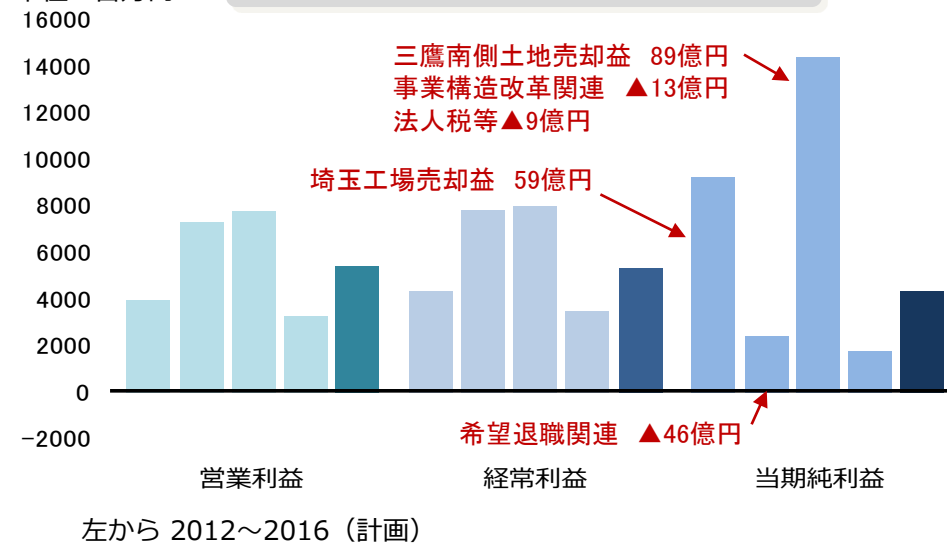
単位：百万円

売上高の推移



単位：百万円

利益の推移



3. 2. 2016年度 セグメント別事業計画

(上段)売上高・(下段)営業利益

単位：百万円

連結業績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 計画	前期比
海上機器	37,883	45,360	45,500	140
	979	2,297	1,900	▲397
通信機器	17,241	13,587	13,900	313
	28	▲440	▲200	240
ソリューション・特機	75,196	64,145	76,800	12,655
	6,909	1,776	4,050	2,274
メカトロニクス・電源	-	-	18,500	18,500
	-	-	▲100	▲100
医用機器	-	-	7,900	7,900
	-	-	250	250
その他	1,929	2,098	2,400	302
	▲203	▲449	▲500	▲51
合計	132,251	125,192	165,000	39,808
	7,713	3,183	5,400	2,217

※NJRC・UJRCの影響額（上記2015年度実績には含まず。2016年度計画に含む。）

- ◆ 創立100周年を機に、JRC/NJRC/UJRCの3社は、ONE-JRC をかけ、経営統合によるシナジーのさらなる加速、および新規事業の確実な立上げを目指す
- ◆ 新経営3ヵ年計画スタートの2016年度は、再び成長軌道にのせるためにも、初年度の計画を達成することで、全てのステークホルダーと社会に評価される会社を目指す

The logo consists of the letters 'JRC' in a bold, red, sans-serif font, enclosed within a red rectangular border with rounded corners.

日本無線

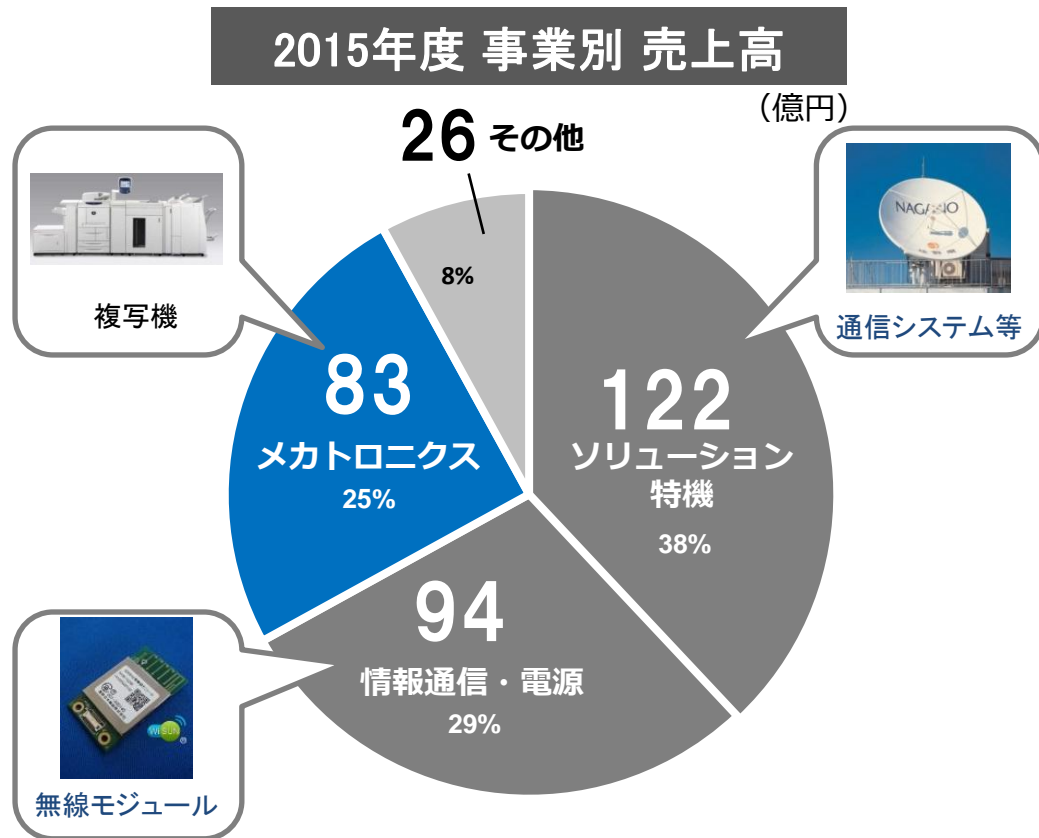
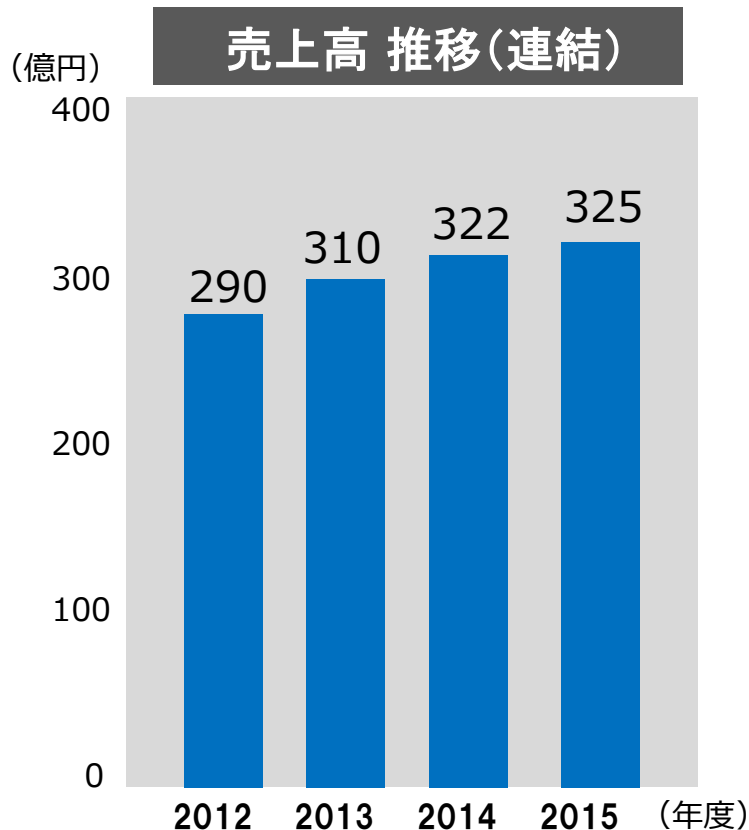
「新しい日本無線グループ」の実現に向けて！

＊ 注意事項 ＊

- **本資料に記載されている、日本無線の計画・戦略・業績見通し等は、現時点における事業環境に基づく把握可能な情報から判断したものであります。**
- **従いまして、今後の事業環境の変化により、実際の業績が業績見通しとは大きく異なる場合があることをご承知おき願います。**

0-1. 長野日本無線 事業概要

主な事業	ソリューション・特機	通信システムを用いた防災システムなどを提供
	情報通信・電源	近距離無線ソリューション、各種電源、車載用電子部品などを提供
	メカトロニクス	機械制御技術をベースにした、印刷機、生産設備などを提供



全従業員数： 1,658名

0-2. 上田日本無線 事業概要

主な事業

無線通信装置

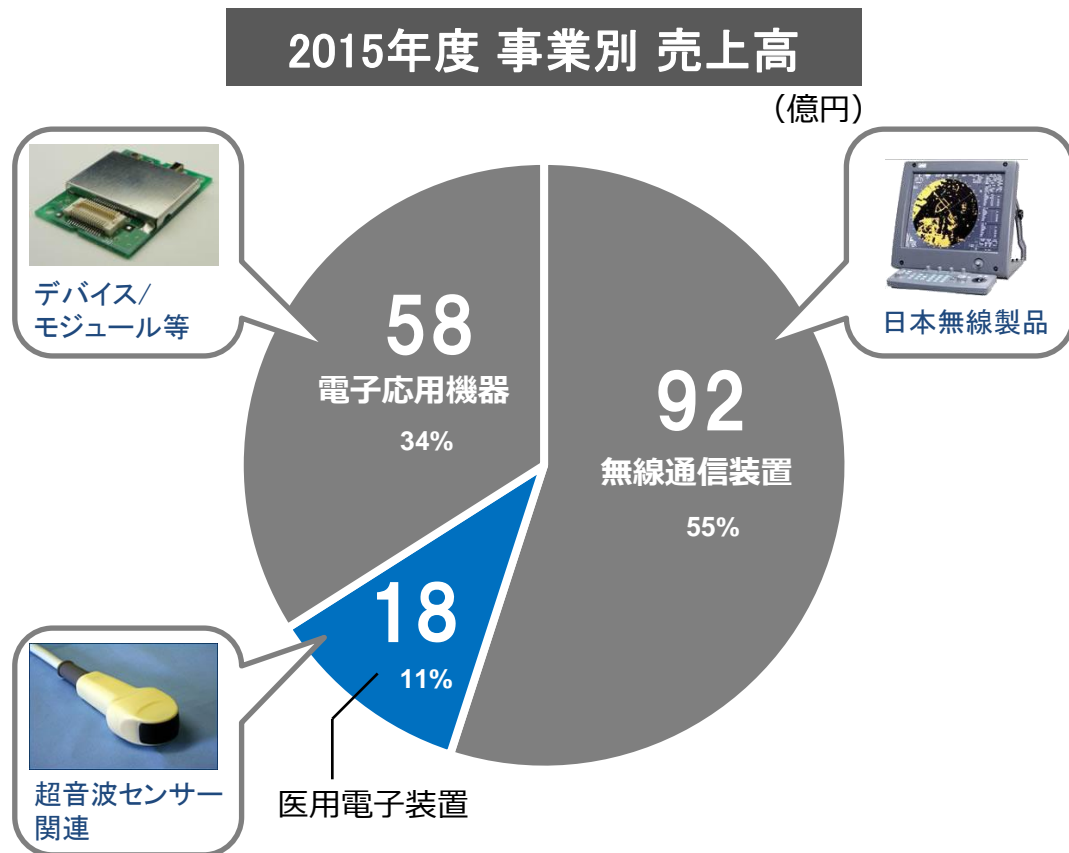
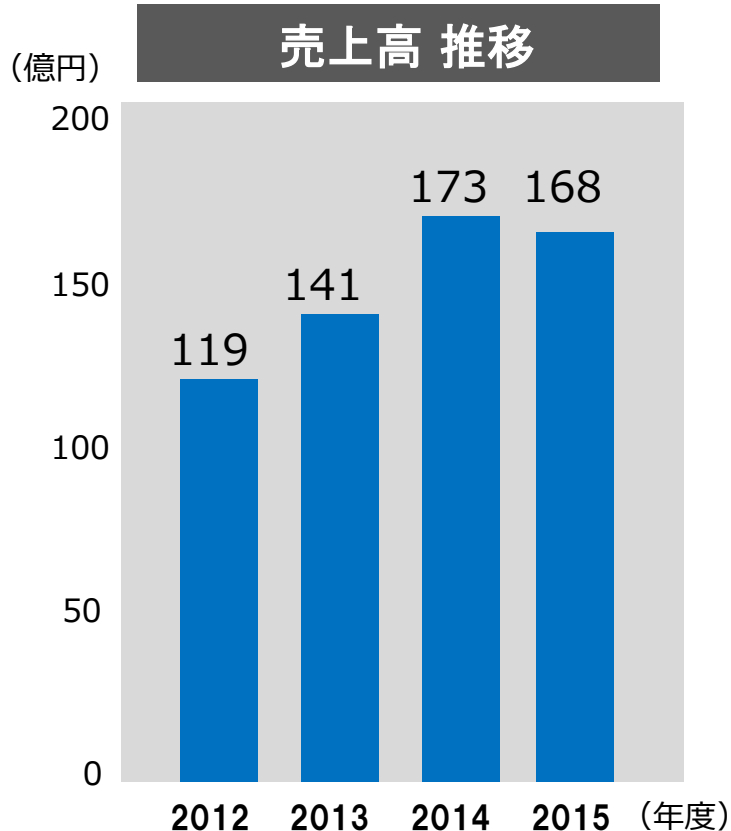
船用電子機器や通信機器の設計・生産、ダム・河川・防災関連のシステム開発

医用電子装置

各種医用機器の提供

電子応用機器

デバイス/モジュール、セキュリティ機器、データ伝送機器などの開発



デバイス/
モジュール等



日本無線製品



超音波センサー
関連